

特別展

「よみがえる正倉院宝物 -再現模造にみる天平の技-」

2020年4月18日(土)～6月14日(日) 奈良国立博物館にて開催

出品作品はすべて再現された模造です。

本展は正倉院宝物の精巧な再現模造の数々を一堂に公開する展覧会です。正倉院宝物とは、奈良・東大寺の倉であった正倉院正倉に伝えられた約九千件におよぶ品々です。聖武天皇ゆかりの品をはじめ、その多くが奈良時代の作で、調度品、楽器、遊戯具、武器・武具、文房具、仏具、文書、染織品など、多彩な内容をもちます。中には西域や唐からもたらされた、国際色豊かな品々も含まれます。

正倉院宝物の本格的な模造製作は、明治時代に奈良で開催された博覧会を機に始まりました。当初、模造製作は修理と一体の事業として取り組まれ、昭和47年(1972)からは、宝物の材料や技法、構造の忠実な再現に重点がおかれるようになります。以来、人間国宝ら伝統技術保持者の熟練の技と、最新の調査・研究成果との融合により、芸術性・学術性の高い優れた再現模造が数多く生み出されてきました。

本展は、これまでに製作された数百件におよぶ正倉院宝物の再現模造品の中から選りすぐりの約100点を一堂に公開するものです。再現された天平の美と技に触れていただくとともに、日本の伝統技術を継承することの意義も感じていただけますと幸いです。1300年の技が、いまここによみがえります。

開催概要

〔会期〕 2020年4月18日(土)～6月14日(日) ※開館時間、休館日、入館料などは未定

〔会場〕 奈良国立博物館(〒630-8213 奈良市登大路町50、奈良公園内)

〔主催〕 奈良国立博物館、朝日新聞社、NHK奈良放送局

〔協賛〕 竹中工務店、ライブアートブックス

※会期中に展示替えがあります。 ※奈良国立博物館での開催後、全国巡回を予定しています。

		
模造 螺鈿槽箏篋(槽頭部分) 正倉院事務所蔵	模造 螺鈿紫檀五絃琵琶 表 正倉院事務所蔵	模造 黄金瑠璃鈿背十二稜鏡 背 正倉院事務所蔵
		
模造 螺鈿紫檀五絃琵琶の螺鈿に線彫りを施している様子	模造 螺鈿紫檀五絃琵琶 裏 正倉院事務所蔵	模造 紅牙撥鎌撥(馬頭怪鳥部分) 正倉院事務所蔵

■本件についてのお問合せ先：「よみがえる正倉院宝物」広報事務局(株式会社ミュージズ・ピーアール内)

〒107-0052 東京都港区赤坂9-1-7 赤坂レジデンシャル770

TEL: 03-6804-5045 FAX: 03-5785-2627 E-mail: info@musepr.co.jp 担当: 大山、奥村、望月

※広報画像の貸し出しは別紙の申請書をご参照ください。

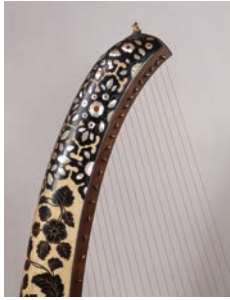




特別展「よみがえる正倉院宝物 -再現模造にみる天平の技-」

広報事務局 FAX：03-5785-2627

本展の作品画像を、広報素材としてご提供いたします。ご希望の際は下記の注意事項をご確認の上、FAXもしくはE-mailでお申し込みください。

【画像使用に際しての注意】

●本展広報目的でのご使用に限ります。展覧会終了後の利用、画像の二次利用はできません。●展覧会名、会期、会場名、作品名、所蔵先を必ず掲載してください。●画像は全図で使用してください。文字を重ねる、トリミングなどの画像の加工はできません。●展覧会基本情報と作品画像使用の確認のため、校正を本展広報事務局にお送りくださるようお願いいたします。●掲載紙誌、同録DVD等は広報事務局に1部ご惠贈願います。●ご不明な点は、本展広報事務局へお問い合わせください。

		
①	②	③
		
④	⑤	⑥

① 模造 らでんそうのくご 螺鈿槽箏篋 (槽頭部分) 正倉院事務所蔵

② 模造 らでんしたんのごげんびわ 螺鈿紫檀五絃琵琶 表 正倉院事務所蔵

③ 模造 おうこんるり でんはいのしゅうにりょうきょう 黄金瑠璃鈿背十二稜鏡 背 正倉院事務所蔵

④ 模造 らでんしたんのごげんびわ 螺鈿紫檀五絃琵琶の螺鈿に線彫りを施している様子

⑤ 模造 らでんしたんのごげんびわ 螺鈿紫檀五絃琵琶 裏 正倉院事務所蔵

⑥ 模造 こうげばちるのばち 紅牙撥鏤撥 (馬頭怪鳥部分) 正倉院事務所蔵

貴社名：	TEL：
貴媒体名：	【 年 月 日 (発売・放送) 月号 】
ご担当者名：	E-mail：

★ご不明な点は、本展広報事務局へお問合せください。